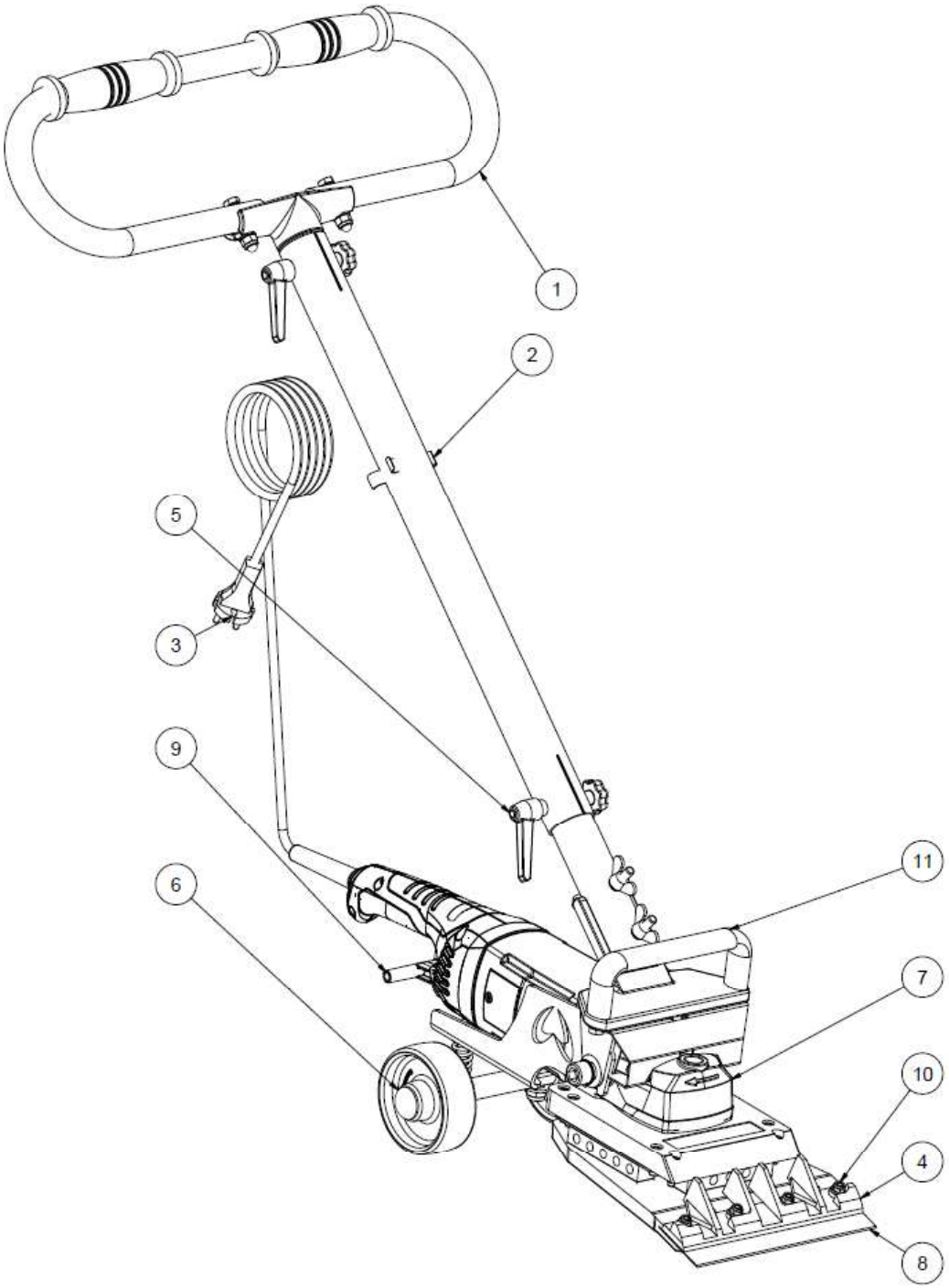
WOLFF | Eine Marke der Uzin Utz Gruppe

JP 取扱説明書原本
EN Translation of the original instruction

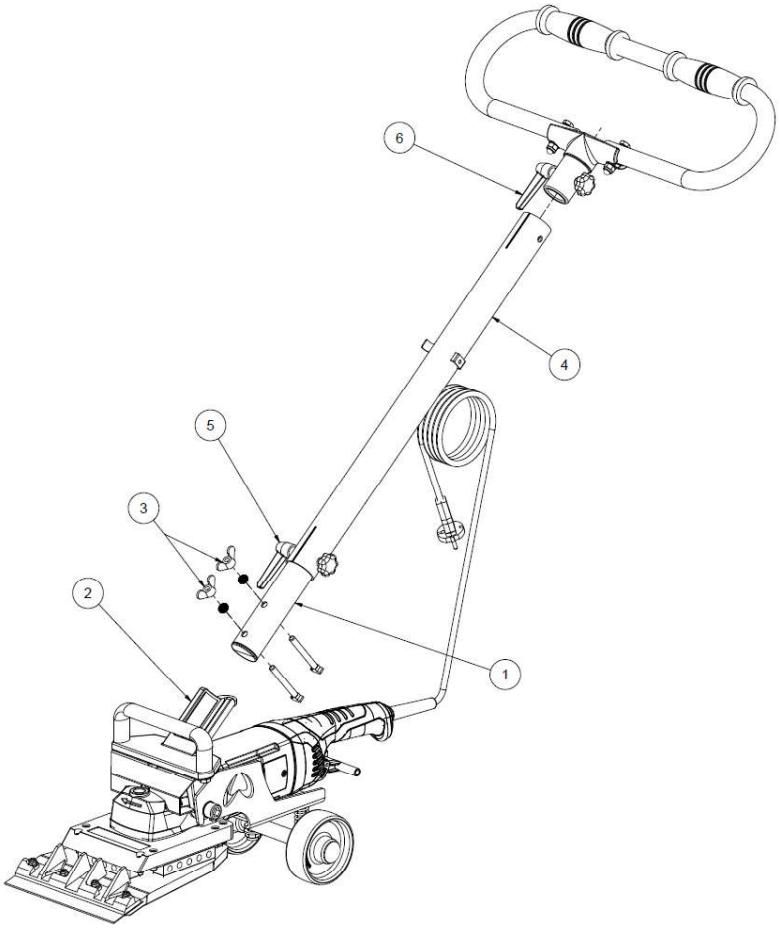
DURO-STRIPPER 2.0 100 V/ 50 Hz JP *#085640*



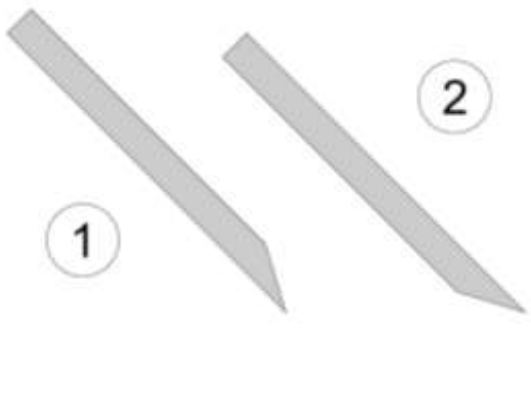
A



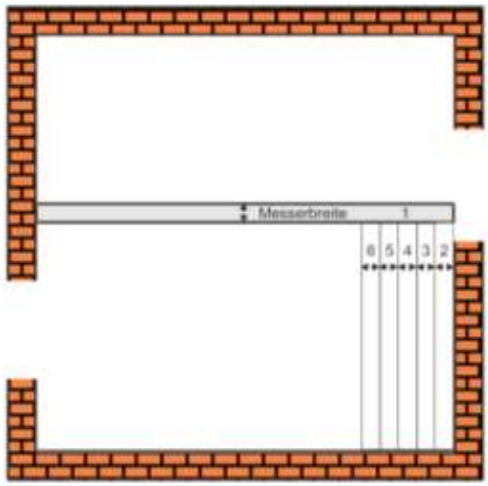
B



D



E



JP

取扱説明書原本

DURO-STRIPPER 2.0 230 V

お客様へ、

DURO-STRIPPER 2.0をお選びいただきありがとうございました。品質と性能の点で正しい決定をされました。
この操作説明書には機械稼働に関する重要な注意事項が記載されています。



注意!

この操作説明書を注意して読んでください、そして全てのユーザーがこの操作説明書を機械利用前に読むようにしてください。

安全注意事項を順守することで、身体や生命への危険から守り、機械を不適切に利用することを回避できます。

作業開始前に機械取扱について学習してください。
作業中では遅すぎます!
専門知識を持たない人が機械を稼働することは絶対に避けてください。

凡例

この操作説明書には安全と損害回避のための重要な注意事項が以下のシンボルでマークされています。

重要な注意事項

⚠ 警告　一般的危険に対する警告



保護ゴーグルを利用してください



聴覚保護を利用してください



説明書/注意事項を読んでください



特殊廃棄物

1.0 製品説明

重要な機械の構成部品

図に書かれた構成要素の番号は、図表ページ2と3の電気ツールでの表示に対応しています。

A+B

1 ハンドル、ストーク
2 ケーブルクリップ
3 電源プラグ
4 ナイフホルダー
5 クリップレバーストーク
6 搬送ホイール
7 モーター
8 ナイフ
9 脚スイッチ オン/オフ
10 ナイフホルダーネジ
11 持ち上げハンドル

機能説明

取扱説明書を読んでいる間図表ページ(2-3)を注意してください。

想定された利用方法

DURO-STRIPPER 2.0は乾いた室内で接着された敷物を取り除く為に設計されています。

他のもしくはこれに付け加わる利用は想定された利用方法ではありません。これによる損傷の責任はUzin Utz Tools GmbH & Co.KGは負いません。

CE 適合宣言

これらの製品が後述の標準もしくは標準となる文書に準拠していることの責任を当社のみが担うことを宣言します:
DIN EN 62841-1,
DIN EN 62841-2-22,
DIN EN 55014-1, DIN EN 55014-2
基準規定の対象:
2006/42/EG, 2014/30/EG, 2014/35/EG.

Dipl.-Ing. (FH) Dieter Hammel
この説明の起案と技術的な書類の全てに関する全権保持者:

01.04.2017 i.V.

Uzin Utz Tools | 74360 Ilsfeld | Ungerhalde 1

技術データ

電圧供給	230 V AC
周波数	50 Hz
消費電力	2000W/9.1A
ストローク数	8.500 Hub/分
総重量	16 kg
ナイフ幅	210 mm

納品リスト

1 DURO-STRIPPER 2.0
1 ナイフ 210 x 50 x 0,7 mm
1 シャシー
1 ナイフ 210 x 60 x 1 mm
1 インバスキー SW10
1 聴覚保護
1 ニ重フォークキー SW10/13
1 ナイフ保護 210 mm
1 ナイフ保護
1 保護グローブ
1 取扱説明書
1 スペアパーツリスト

2.0 安全規定

2.1 電気ツールに関する一般的安全注意事項

⚠ 警告 全ての安全注意事項を指示を読んでください。

安全注意事項と指示の保持を行わないことで感電、火災及び/もしくは重いケガをもたらすことがあります。

全ての安全注意事項を指示を将来のために保管してください。

安全注意事項で利用されている概念「電気ツール」は電気稼働する電気ツール(電源コード付)とバッテリーで稼働する電気ツール(電源コード無)を指しています。

1) 作業場所の安全

a) 作業範囲をきれいに十分に照らされているように注意をしてください。

整理整頓されず、明かりのない作業場所では事故が生じることがあります。

b) 電気ツールを燃焼性液体、ガス、ホコリのある爆発の危険がある環境での作業には使わないでください。

電気ツールは、ホコリもしくは蒸気に着火するかもしれないスパークを創り出します。

c) 子どもや関係のない人を電気ツール使用時には近づけないようにしてください。

集中していない場合、機器へのコントロールを失います。

2 電気的な安全

a) で年期ツールの接続プラグはコンセントに適合していないといけません。プラグを改造することは絶対に許されていません。
アダプタープラグを保護アースされた電気ツールと一緒に利用しないでください。

改造されていないプラグと適切なコンセントにより感電のリスクが減少します。
改造されていないプラグと適切なコンセントにより感電のリスクが減少します。

b) 管、ヒーター、コンロ、冷蔵庫等のアース面との肉体的な接触を避けてください。

身体が地面にあると感電の高いリスクがあります。

c) 雨や湿り気から電気ツールを遠ざけてください。

電気ツールに水が入ると感電のリスクが増大します。

d) ケーブルを電気ツールを持ち上げたり、つるしたり、プラグをコンセントから引っ張るのに使うなど間違った方法で利用しないでください。
熱源、オイル、鋭いエッジもしくは動作する機器部品から遠ざけてください。

損傷もしくは巻かれているケーブルは感電のリスクを高めます。

e) 屋外で電気ツールを利用する場合、屋外用延長ケーブルを利用してください。

外部用の延長ケーブル利用により感電のリスクを減少させます。

f) 電気ツールの稼働が湿気を含む環境で行うことを避けられない場合、エラー電源保護スイッチを利用してください。

エラー電流保護スイッチの利用は感電のリスクを減少させます。

3) 個人の安全

a) 何をしているかを常に考え、電気ツールでの作業理由を行ってください。疲れている場合もしくドラッグ、アルコール、薬品の影響下にいる場合、電気ツールを利用しないでください。

電気ツール利用時、気を散らした瞬間に重大なケガを生じさせることがあります。

b) 個人用保護装備と常に保護ゴーグルを身に着けてください。
防塵マスク、滑り防止安全口、聴覚保護を電気ツールの種類と利用方法により身に着けることでケガのリスクを減少させます。

c) 意図しない運転開始を回避してください。電源供給/バッテリーに接続、受け取り、手に持つ場合には電気ツールの電源がオフになっていることを事前に認知してください。

電気ツールを手荷物際、指をスイッチに触れて居たり、スイッチが入ったまま機器を電流に接続する場合、事故が生じることがあります。

d) 電気ツールのスイッチを入れる前に設置ツールもしくはネジキーを取り外してください。

回転する機器部品にツールとキーがある場合、ケガをすることがあります。

e) 標準的でない姿勢を回避してください。
安全な状態を守り、常に均衡を取ってください。

これにより想定しない状況の電気ツールをよりよく制御することが可能です。

f) 適切な衣服を身に着けてください。ゆったりとした衣服や装飾品を身に着けないでください。髪の毛、衣服、ハンドグローブを動作する部品から遠ざけてください。

ゆったりした服、アクセサリ、長髪は動作する部品に持っていかれることがあります。

g) ホコリ吸引装置と収集装置が取り付けられる場合、これらが接続されていること正しく利用されていることを確認してください。

ホコリ吸引装置の利用でホコリが軽減し危険が軽減されます。

4) 電気ツールの利用と処理

a) 装置に過剰な負荷を与えないでください。作業内容に合せて規定された電気ツールを利用してください。
適合する電気ツールで作業すると作業がよりよくなりその範囲で安全になります。

b) スイッチが壊れている場合、電気ツールを利用しないでください。

電源のオンオフが出来なくなった電気ツールは危険です、修理をしてください。

c) 装置設定の変更、オプション部品の取替、機器を離しておいておく場合、プラグをコンセントから抜きますそして/もしくはバッテリーを取ります。

この警戒措置により予期せぬ電気ツールの開始を防止することが可能となります。.

d) 利用していない電気ツールを子どもの手に触れないところで保管してください。自信のない人もしくはこの指示書を読んでいない人にこの機器を使わせないでください。

経験のない人がこの電気ツールを使うことは危険です。

e) 気を付けながら電気ツールの手入れをしてください。動作する部品が問題なく機能するか、絡まっていないか、部品が割れていないか、損傷していないか、電気ツールの機能を邪魔していないか確認してください。損傷した部品を機器の使用前に修理してください。

手入れされていない電気ツールがたくさんの事故の原因になっています。

f) 切断ツールを鋭く、清潔に保ってください。

注意深くメンテナンスされた鋭い切断エッジを持つ切断ツールは絡まることも少なく、扱いが容易です。

g) 電気ツール、オプション、スペアツール等を指示に合せて利用してください。作業必要条件と実行するべき作業の際に気を付けてください。

既存の利用ではない電気ツールの利用は危険な状態をもたらします。

5) サービス

a) 電気ツールは認証された技師がオリジナルスペアパーツで修理するようにしてください。

これにより電気ツールの安全が保持されることが保証されました。

2.2 機器特有の安全注意事項



この電気ツールに添付されている全ての安全注意事項、指示、図表、規定書を読んでください。

後述の指示の保持を行わないことで感電、火災及び/もしくは重いケガをもたらすことがあります。

► 損傷していないスペアツールを利用してください。スペアツールのひびと割れを利用の前に必ず確認してください。
電気ツールや利用するツールが落ちたら、損傷があるかどうか確認するか、損傷のないスペアツールを利用してください。

► 個人用保護装備を身に着けてください。
利用ごとに完全に顔を覆うカバー、目の保護、保護ゴーグルを付けてください。適切な聴覚保護と保護グローブを身に着けてください。

多様な利用法により生じる四方八方に飛ぶ異物から目を守らなくてはなりません。

ホコリと呼吸保護マスクは発生するホコリをフィルターするものでなければなりません。長い間大きな騒音を聞き続ける場合、聴覚が失われることがあります。

► 作業範囲から安全な距離を保ったところに他者がいることを確認してください。作業範囲に入る全ての人は個人用保護装備を身につけなければなりません。

割れた製品、割られたスペアツールは飛ぶことがあり、直接の作業範囲外でのケガをもたらすことがあります。

► スペアツールが禁止された電流ラインや自身の電気ケーブルに触れる可能性のある場所で作業を実行する際、絶縁されたハンドルでのみ電気ツールに触れてください。

電圧のあるラインとの接触および電圧下の電気ツールの金属面に触れることで感電します。

► 動作する利用中のツールから電源コードを遠ざけてください。

電気ツールのコントロールを失った場合、電源を抜くことで解決します。

► 電気ツールの換気枠を定期的にクリーニングしてください。

モーターファンは筐体にあるホコリを吸い込み、金属ホコリが収集されると電気的危険をもたらすことがあります。

► 電気ツールを燃焼する材料のそばで利用しないでください。スパークがこの素材で着火します。

液体状の冷却材が必要なスペアツールを利用しないでください。水や他の液体状の冷却材を利用すると感電を引き起こすことがあります。

追加の安全注意事項



保護ゴーグルを付けてください。

► 損傷したケーブルと共に電気ツールを利用しないでください。損傷したケーブルに接触しないでくださいそして、コンセントから離してください。

損傷しているケーブルは感電のリスクを高めます。

雑音/振動情報



聴覚保護を付けてください

計測値はEN 60745に適切です

機器のA評価の騒音レベルは通常

騒音レベル	dB(A)	88
騒音性能レベル	dB(A)	101
不確実性	K= dB	+/- 1,5

⚠ 警告 聴覚保護を利用してください!

総振動値
(ベクトル総合三原則)
がEN 60745に対して適切に決定されます:

振動放射値	ah =	.....16 m/s^2
不確実性	K =	+/- 1,5 m/s^2

3.0 機械の準備

3.1 取付ストーク 図 A+B

運転開始の為、長い内部管(1)を2本のネジ(3)でハンドルフレームのハーフシェル(2)に固定してください。

この上を外部管(4)がスライドします
外部管(4)は端子ネジの補助により長さ調整が可能です。

管の終端部にはハンドルがさされ端子ネジ(6)で固定されています。端子ネジ(5)はハンドルの長さ調整の為に利用されます。

床にあるケーブルの摩耗を防ぐため、ケーブルクリップ(2)でストーク管に挟まれなければなりません。

ナイフ保護がない場合、ナイフがとても鋭利なためにケガの危険があります!

3.2 ストーク高調整 図 B

ストーク高は調整のため身体の大きさに設定することが可能です。このためにストーク下部の端子ネジ(5)を緩め高さを希望の場所で設定します。端子ネジ(5)を再度締めてください。

3.3 ナイフの取付と交換 図 A+C

ナイフ交換もしくはナイフ取付の開始前、プラグをコンセントから抜いてください! 自身の安全のため作業靴を利用してください。

► 同梱のナイフ保護に差してください!
(ツールセットにあります)

► ナイフホルダーのネジ(10)をきれいにしてその後緩めてください

► ケガの危険を避けるためにナイフの反対側のキーを装着してください。

► ナイフをセットするか交換してください。

新しいナイフのセット時、ナイフの止める場所が保護エッジの上にあることを確認してください。通常及び固い床の場合、角度のついているサイドが上に(1)、柔らかい床の場合 (チップボード等) は角度のついているサイドが下を(2)向くようにしてください。

4.0 稼働

4.1 平面図Dの準備

DURO-STRIPPER 2.0は接着された敷物をフレキシブルにストリップ状に取り除きます。

► 準備としては敷物を約21センチの幅で切断することで十分です。

幅が広くても時間の節約にはなりません。

► 取り除きを始める為にストリップを横切断しなくてはなりません。

► その後、機械のナイフが敷物の下に入るように数センチメートル持ち上げます。

最初のストリップを通常の作業方向を横断するように取り除くとメリットがあります、何故なら次のストリップをすぐ始めることができるためです。

非常に除去するのが難しい敷物の場合、ストリップを補足してください。

► ナイフは通常セメントにより自身で研磨します。

もしスチール板が曲がったり丸状(満月型)もしくは非常に摩耗されている場合このためナイフ交換が実行されなければなりません。

► 駆動ホイールは-重量の重い作業では特別に-重大な摩耗が生じます。もしも、ゴムバンドが約16mm利用されていたら、工場で交換されなければなりません。それでなければ作業角度が極端に変わります。石灰化もしくはフォーム欠けの場合、最適な作業は可能ではありません。

4.2 運転開始

► 電圧に気を付けてください! 電流源の電圧は電気ツールのパネルの値と合致していなければなりません。230Vと記載されている電気ツールは220Vでも運転が可能です。

⚠ 警告

利用前にストリッパーを確認してください。

► ナイフは問題なく組み立てられ、障害なく動かなくてはなりません。

試運転を最低でも1分以上負荷をかけず行ってください。

► 損傷したナイフを利用しないでください。

損傷したナイフはバーストとケガをもたらすことがあります。

4.3 機械図Aのので電源オンオフ

► フットスイッチ(9)により機械の電源がオンオフされます

5.0 搬送

ケガを避けるため、機械の搬送の際ナイフは取り外されていなければなりません。

6.0 メンテナンス

メンテナンスとクリーニング

► 全ての機械ツールでの作業後、プラグをコンセントから抜いてください。

► 良く確実に作業をするために電気ツールと換気口のスロットをきれいに保ってください。

► モーターは電源オフ石炭が装備されているためモーターが摩耗限界に達すると電源が切れます。

メンテナンスのため電気ツールはカスタマーサービスに送られなければなりません。住所は「カスタマーサービスとカスタマーコンサルティング」項をご覧ください。

電気ツールが、注意深い生産と検査手順にも関わらず問題がある場合、WOLFF電気ツールから認定された顧客サービス場所で修理が実行されなければなりません。

全ての問い合わせとスペアパーツ注文の場合には電気ツールにあるプレートから商品番号を調べて申告してください。

6.1 スペアパーツ

スペアパーツは以下のインターネットで見つかります:
http://webcatalog.wolff-tools.com。

7.0 トラブルシューティング

障害	可能性のある原因	解決策
機械が駆動しません	電流が中断します、安全装置が故障、プラグが故障	電気技師により障害を解決させるか部品を交換してください
作業時燃料消費が非常に高いです	切断プレートが鋭くありません	切断プレートを変更するか研磨してください
機械の電源が落ちます	石炭が使い古されました	石炭をサービス工場で交換してください

8.0 廃棄注意事項

廃棄

電気ツール、オプション、パッケージは環境に適したリサイクルを行うようにしてください。
EU内の国の場合のみ:



電気ツールは家庭ごみとして捨てないでください! 電気と工レクトリニック旧式機器と国内法によるその環境に関する欧州基準2002/96/EGに基づき、利用可能な電気ツールが分けられて集められる必要はなく環境に正しいリサイクルが実行されなければなりません。

変更する権利を持ちます。

9.0 多様な床の敷物に関する注意事項

作業注意事項

► 静止してしまうほど強く電気ツールに負荷を与えないでください。

DURO-STRIPPERS 2.0が利用される主要な分野はリノリウム、PVC、ゴム、コルク、デザイン、CVカバー、ニードルフリース、絨毯の床の除去です。

比較して、木材のタイル床、複数層床、フレックスパレット、瀬戸物床を除去することができます。

► ナーゲルフリース、絨毯、PVC…..

取り除かれた敷物はナイフの幅に切断され(図D)、ストリッパーで一つの作業工程として除去されます。また接着剤もしばしば共に除去されます。

► フォームバッキング材無しの敷物:

図Eの幅にストリップを事前に切断してください。定期的にナイフがまだまっすぐで鋭いかどうか確認してください。

► フォームバッキング材有りの敷物:

鋭利なナイフのみ利用してください! 利用層を大きな面で取り外してください。加えてリッピングクローを利用してください。
最後にフォームのストリッパーの残りを捨ててください。トラフにフォームが少し残っていたら、横から稼働してください。

► フリースバッキング材有りの敷物:

利用層は事前には取り外さないでください。敷物をストリップに切断し、フリースの残りと一緒に取り除いてください。

⚠ 警告 注意 ナイフ推奨:

通常はどのナイフをどの目的で利用するのかのコメントはありません、なぜなら敷物と床の多くが互いに異なりすぎるためです。

これらの推奨はサポートの位置づけです!

► プレートナイフ異なる長さと幅が床の敷物の柔軟性と伸縮性のために推奨されています。敷物がしっかりついているほどナイフは太くなくてはいけません。

► 通常はナイフをスライサーと一緒に上部に設置します、ただし床深くで作業する場合を除きます。その場合、スライサーは下を向けて設置しなければなりません。

10.0 保証

新しいWolff機械の保証期間は強制力のある法律的な規定が他のことをいう場合でない限り顧客への引き渡し/納品の時点から一年間です。

保証請求権の主張の場合、基本的に以下書類の提出が必要です、
領収書もしくはレシート。

保証の範囲の全ての修理は承認されているWolffサービス工場により行われなくてはなりません。自身で実行及び/もしくは専門的でない修理は保証請求権利の除外が法的に生じます。これは専門的でない操作及び/もしくは利用にも適用されます。

Wolff機械の部品オプション置き換えと他の変更

Wolff機械は利用者に高い安全と信頼性を提供します。これらを受け取るために、納品時の時点である工場サイドのWolff機械の状態が後続の規制の順守ができないため変更を行ってください。この規定は部品の交換、オプションの設置だけでなくほかの技術変更のことも差します。

❒ 適切な専門的にトレーニングを受け経験を持つスタッフと非調な道具のある場所である専門工場のみでWolff機械でのあらゆる作業を行わせてください。当社はそのため承認されたWolffサービス工場を推薦します。

❒ 意図的な技術変更を伴う意図的なオプション付き装備の部品の意図的な交換の場合、常に作業前に承認されたWolffサービス工場もしくは製造者としての当社が行う意図的な部品の利用が常に行われなければなりません。

❒ 製造元から承認され、安全検査されたオリジナルのWolffスペアパーツとオリジナルWolffオプション部品のみを利用することが緊急で推奨されています。

このスペアパーツとオプションパーツは認証済みのWolffサービス工場で入手が可能であり、そこでは専門的な取付も行うことが可能です。オリジナルWolffスペアパーツとオリジナルWolff

オプションパーツは安全とWolffへの適合について検査されます。

Wolffスペア及びオプション部品ではない製品の安全と適合性については十分に判断できません。そのため個々にも発生しません。

❒ 稼働安全を順守し損傷を回避するため、技術面での変更があった場合には、どのようなものであっても全て当社の技術ガイドラインに合うようにしてください。この点において、もしWolff機械に対して質問がある場合、いつでも当社にご連絡ください。

専門的でない作業や事前に述べられた規則の侵害により生じた場合、当社はその損傷の保証について責任を負うことができません。

Translation of the original operating instructions

DURO-STRIPPER 2.0 230 V

Dear Customer

You have chosen to purchase the DURO-STRIPPER 2.0 the right choice when it comes to quality and performance.

This operating manual contains important instructions for operating the machine.



Attention!

Please read this operating manual carefully, and ensure that all users read this manual before operating the machine.

Observing the safety instructions protects against situations that may endanger health and safety and helps to prevent improper use of the machine.

Ensure that you are confident operating the machine before commencing work. During operation is too late! Do not allow persons to operate the machine if they do not possess the necessary expertise to do so.

Legend

Important instructions relating to safety and damage prevention are indicated in this operating manual by the following symbols.

Important instructions

⚠ Warning Warning of general danger



Wear safety glasses



Wear hearing protection



Read the instructions/notices



Special waste

1.0 Product description

Important components of the machine

The numbering of the product features refers to the illustration of the machine on the graphics page 2 and 3.

A+B

1 Handle
2 Cable clip
3 Mains plug
4 Knife holders
5 Clamp lever, handle
6 Transport wheel
7 Motor
8 Blade
9 Foot switch on/off
10 Screws, Blade holder
11 Grip

Functional description

Please refer to the graphics on pages 2-3 while you read the operating instructions.

Restriction of use

The DURO-STRIPPER 2.0 is exclusively for removing bonded floor coverings in dry environments.

It should not be used for any other purpose. Uzin Utz Tools GmbH & Co. KG cannot be held responsible for any damage or loss caused by incorrect use.

CE Declaration of Conformity

We declare under our sole responsibility that this product is in conformity with the following standards of standardization documents:
DIN EN 62841-1, DIN EN 62841-2-22,
DIN EN 55014-1, DIN EN 55014-2
according to the provisions of the:
2006/42/EC, 2014/30/EU, 2014/35/EU.

Dipl.-Ing. (FH) Dieter Hammel
Authorised to issue this declaration and for the gathering of the technical documentation.

01.04.2017 i.v.
Utin Utz Tools & Co. KG | D-74360 Ilsfeld | Ungerhalde 1

Technical data

Power supply…….....115V/230-240V AC
Frequency…….....50-60 Hz
Power consumption …….....2000W/9,1A
Stroke rate…….....8500 stroke/min
Weight total…….....16 kg
Blade's width…….....210 mm

Includes:

1 DURO-STRIPPER 2.0
1 Blade 210 x 50 x 0,7 mm
1 Blade 210 x 60 x 1 mm
1 Chassis
1 Allen key SW 10
1 double wrench SW 10/13
1 blade protection 210 mm
1 blade protection
1 Ear protection
1 protective gloves
1 Spare parts list
1 Operating instructions

2.0 Safety Warnings

2.1 General Power Tool Safety Warnings

⚠ Warning **Read all safety warnings and all instructions.**

Failure to follow the warnings and instructions may result in electric shock, fire and/or serious injury.

Save all warnings and instructions for future reference.

The term “power tool” in the warnings refers to your mains-operated (corded) power tool or battery-operated (cordless) power tool.

1) Work area safety

a) Keep work area clean and well lit.

Cluttered or dark areas invite accidents.

b) Do not operate power tools in explosive atmosphe res, such as in the presence of flammable liquids, gases or dust.

Power tools create sparks which may ignite the Dust or fumes.

c) Keep children and bystanders away while operating a power tool.

Distractions can cause you to lose control.

2) Electrical safety

a) Power tool plugs must match the outlet. Never modify the plug in any way. Do not use any adapter plugs with earthed (grounded) power tools.

Unmodified plugs and matching outlets will reduce risk of electric shock.

b) Avoid body contact with earthed or grounded surfaces, such as pipes, radiators, ranges and refrigerators.

There is an increased risk of electric shock if your body is earthed or grounded.

c) Do not expose power tools to rain or wet conditions.

Water entering a power tool will increase the risk of electric shock.

d) Do not abuse the cord. Never use the cord for car rying, pulling or unplugging the power tool. Keep cord away from heat, oil, sharp edges and moving parts.

Damaged or entangled cords increase the risk of electric shock.

e) When operating a power tool outdoors, use an ex tension cord suitable for outdoor use.

The use of a cord suitable for outdoor use reduces the risk of electric shock.

f) If the operation of a power tool in a damp location is unavoidable, use a residual current device (RCD) protected supply.

The use of an RCD reduces the risk of electric shock.

3) Personal safety

a) Stay alert, watch what you are doing and usecommon sense when operating a power tool. Do not use a power tool while you are tired or under the influence of drugs, alcohol or medication.

A moment of inattention while operating power tools may result in serious personal injury.

b) Use personal protective equipment. Always wear eye protection.

Protective equipment such as dust mask, non-slip safety shoes and hearing protection used for appro-. priate conditions will reduce personal injuries.

c) Prevent unintentional starting. Ensure the switch is in the off-position before connecting to power source and/or battery pack, picking up or carrying the tool.

Carrying power tools with your finger on the switch or energising power tools that have the switch on Invites accidents.

d) Remove any adjusting key or wrench before turning the power tool on.

A wrench or a key left attached to a rotating part of the power tool may result in personal injury.

e) Do not overreach. Keep proper footing and balance at all times.

This enables better control of the power tool in unexpected situations.

f) Dress properly. Do not wear loose clothing or jewellery. Keep your hair, clothing and gloves away from moving parts.

Loose clothes, jewellery or long hair can be caught in moving parts.

4) Power tool use and care

a) Do not force the power tool. Use the correct power tool for your application.

The correct power tool will do the job better and safer at the rate for which it was designed.

b) Do not use the power tool if the switch does not turn it on and off.

Any power tool that cannot be controlled with the switch is dangerous and must be repaired.

c) Disconnect the plug from the power source and/ or the battery pack from the power tool before making any adjustments, changing accessories, or storing power tools.

Such preventive safety measures reduce the risk of starting the power tool accidentally.

d) Store idle power tools out of the reach of children and do not allow persons unfamiliar with the power tool or these instructions to operate the power tool.

Power tools are dangerous in the hands of untrained users.

e) Maintain power tools. Check for misalignment or binding of moving parts, breakage of parts and any other conditions that may affect the power tool's operation.

If damaged, have the power tool repaired before use. Many accidents are caused by poorly maintained power tools.

f) Keep cutting tools sharp and clean.

Properly maintained cutting tools with sharp cutting edges are less likely to bind and are easier to control.

g) Use the power tool, accessories and tool bits etc. in accordance with these instructions, taking into

account the working conditions and the work to be performed.

Use of the power tool for operations different from those intended could result in a hazardous situation.

5) Service

a) Have your power tool serviced by a qualified repair person using only identical replacement parts.

This will ensure that the safety of the power tool Is maintained.

2.2 Machine-specific Safety Warnings



Read all safety warnings, instructions, illustrations and specifications provided with this power tool.

Failure to follow all instructions listed below may result in electric shock, fire and/or serious injury.

► **Do not use damaged tools. Before each use inspect the wheels for chips and cracks. If the power tool is dropped, inspect for damage or install an undamaged tool.**

► **Wear personal protective equipment. Depending on the application, use a face shield, safety goggles or safety glasses. As appropriate, wear a dust mask, hearing protection gloves.**

The eye protection must be capable of stopping flying debris generated by various operations.

The dust mask or respirator must be capable of filtrating particles generated by your operation. Prolonged exposure to high intensity noise may cause hearing loss.

► **Keep bystanders a safe distance away from the work area. Anyone entering the work area must wear personal protective equipment.**

Fragments of workpieces or of a broken accessory may fly away and cause injury beyond immediate area of operation.

► **Hold the power tool only by the insulated gripping surfaces when performing an operation where the cutting tool may come into contact with hidden wiring or its own cord.**

Contact with a “live” wire will also make exposed metal parts of the power tool “live” and shock the operator.

► **Position the cord clear of the moving accessory.**

If you lose control of the power tool, the cord may be cut or snagged.

► **Regularly clean the power tool’s air fins.**

The motor’s fan will draw the dust inside the housing and excessive accumulation of powdered metal may cause electrical hazards.

► **Do not operate the power tool near flammable materials.**

Sparks could ignite these materials.

► **Do not use accessories that require liquid coolants.**

Using water or other liquid coolants may result in electrocution or shock.

Additional safety warnings



Wear safety goggles.

► **Never use the machine with a damaged cable. Do not touch the damaged cable and pull the mains plug when the cable is damaged while working.**

Damaged cables increase the risk of an electric shock.

Noise/vibration information



Wear hearing protection.

Measurements determined in accordance with EN 60745

The A-rated sound pressure level of the machine is normally

Sound pressure level .....dB(A) 88
Sound power level.....dB(A) 101
Margin of error .....K=d +/- 1.5 dB

⚠ Warning Wear hearing protection!

Overall vibration values
(vector sum of three directions)
determined in accordance with EN 60745:

Vibration emission level .....ah = 16 m/s²
Margin of error .....K = +/- 1.5 m/s²

3.0 Preparing the machine

3.1 Installation Handel Picture A+B

Mount the long internal (1) tube with 2 screws (3) to the handle support (2)

Telescope the outer tube over it (4). The length of the handle may be adjusted by sliding the outer tube and locked with screw (5).

Place the handle into the end of the tube and latch the locking (6).

Fix the mains cable at the handle in order to keep it free from the blade and the wheels (2).

3.2 Adjusting the handle height Picture B

The height of the handle can be adjusted to adapt the machine to the stature of the operator. To adjust the inclination, loosen the thumb screw (5) adjust as you like. Thighten the thumb screw (5) after adjustment.

3.3 Changing the blade Picture A+C

Disconnect the power supply before changing the blade. Use work gloves for your own safety.

► put on the blade protection (enclosed in the tools set)

► clean and loosen the screws (10) of the blade mounting.

► Set the wrench at a position opposite to the blade to avoid injury.

► attach or change the blade.

Make sure that the blade fits in exactly into the support on normal and hard subfloors the bevel of the blade should show upwards (1), on soft subfloors
(e.g. chipboards) the bevel should show downwards (2).

4.0 Use

4.1 Preparations Picture D

The DURO-Stripper 2.0 removes any bonded floor coverings in stripes.

► Before starting work, cut the floor covering into stripes of about 21 cm (8 inch).

You cannot work faster if you cut wider stripes.

► To begin, cut one stripe crosswise. Then lift the floor slightly in order to get the blade underneath it.

► We recommend to cut the first strip at right angles to the main working direction. By so doing access to the adjacent strips is made easier.

Cut the strips smaller if the floor covering is bonded very ecurely, e.g. with an epoxy adhesive.

► The blades are sharpened by the floor pavement.

Therefore theblade only has to be changed if it is twisted, collateral rounded or becomes worn.

4.2 Start up

► **Consider the mains power. The voltage of the power supply has to be conform with the specifications of the type plate.**

⚠ Warning **Attention:**

Check the machine before use:

► The blade has to be mounted properly.

► Make a test run of min. 1minute.

► Do not use damaged blades.

► Damaged blades can burst and injure.

4.3 Switching on/off fig. Picture A

► The foot switch (9) switches the machine On and Off

5.0 Transport

To avoid injury dismount the blade while transporting the machine. Pull out the plug from the mains.

6.0 Maintenance

Maintenance and Cleaning

- **Before any work on the machine itself, pull the mains plug.**
- **For safe and proper working, always keep the machine and ventilation slots clean. The machine must then be sent to an after-sales Service agent. Addresses are listed in the Section "After- sales service and customer assistance".**
- **The motor is equipped with shut-off charcoal which shuts off the motor when the wear limit is reached.**

  If the machine should fail despite the care taken in manufacturing and testing procedures, repair should be carried out by an after-sales service centre for WOLFF power tools.

  In all correspondence and spare parts orders, please always include the machine number specified on the type plate of the machine.

6.1 Spare parts

Spare parts are available on the Internet: http://webcatalog.wolff-tools.com can be found.

7.0 Trouble shooting

Fault	Possible cause	Remedy
The machine does not start	Power supply interrupted Defective cable Defective plug	Contact Electrician.For repair and /or replace parts
Higher exertion of force required while working	Cutting blade dull	Replace cutting blade or resharpen
Machine shuts off	Coal worn out	Replaced coals in service workshop

8.0 Disposal information

Disposal

The machine, accessories and packaging should be sorted for environmental-friendly recycling.

Only for EC countries:



Do not dispose of power tools into household waste! According the European Guideline 2002/96/EC for Waste Electrical and Electronic Equipment and its implementation into national right, power tools that are no longer usable must be collected separately and disposed of in an environmentally correct manner.

Subject to change without notice

9.0 Notes on various floor coverings

Operating instructions

- **Do not place the power tool until a load that causes it to stop.**

  The DURO STRIPPER 2.0 is primarily used to remove linoleum, PVC, rubber, cork, design, and CV coverings as well as needle-punched floor covering and carpeted flooring.

  Hardwood parquet, multi-layer parquet, semiflexible and ceramic tiles can also be removed to a limited extent.

- **Needle-punched floor covering, carpet, PVC…..**

  The coverings to be removed should be pre-cut in blade-widths (Pic. D) and then removed with the stripper in one step. In many cases, the glue can also be removed at the same time.

- **Coverings without a foam backing:**

  Prior to performing the stripping work, pre-cut the strips in blade-widths (Pic. D). Regularly check whether the blade is still straight and sharp.

- **Coverings with a foam backing:**
  Only use sharp blades! Remove the large Sections of the wearing surface. Use a carpet pulling claw for this. Then remove the foam residue with the stripper. If there is some foam in the recess, approach from the side.

► **Coverings with a fleece backing:**

Do not remove the wearing surface beforehand. Cut the covering into strips and strip them together with the fleece backing.

⚠ Warning **Important blade recommendation:**

In general, no statements can be made on which blades can be used for which blades, because the variety of coverings and surfaces are too diverse. These recommendations are to provide assistance!

► We recommend using flat blades of varying lengths and widths for flexible, elastic floor coverings. The harder the covering, the thicker the blade should be.

► The blade is generally inserted with the blade edge up, unless it works itself too deep in the surface. In this case, the blade must be inserted with the blade edge down.

10.0 Guarantee

The warranty period for new Wolff machines shall last for one year from the point at which the machine is transferred / delivered to the customer, insofar as statutory legal requirements do not stipulate otherwise.

When validating warranty claims, the invoice or proof of purchase must always be submitted.All repairs within the framework of the warranty agreement must be undertaken by a service Centre that has been accredited by us.

Customers performing their own repairs and/or improper repairs regularly lead to the exclusion of warranty claims. The same also applies to incorrect operation and/or use.

Replacement of parts, accessories and other modifications to Wolff machines

Users of Wolff machines enjoy a high level of safety and reliability of their machine. In order to maintain this status quo, your Wolff tool may not be modified from the condition in which it is delivered without following the rules below.

These rules apply to both the replacement of parts and equipping the machine with accessories as well as other technical modifications.

❒ All work undertaken to your Wolff machine must be **undertaken exclusively by a workshop that** has suitably trained and experienced personnel at its disposal, as well as the requisite work equipment. We recommend using authorised service Centre.

❒ In the event of planned replacement of parts, planned addition of accessories or other planned technical modifications, an assessment must always be carried **out by an authorised** service Centre or us, as manufacturer, before work is commenced.

❒ It is highly recommend that only safety-approved Original Wolff replacement parts and Original Wolff accessories are used, which have been approved by us, as manufacturer. Replacement parts and acces sories can be obtained from your authorised service Centre, which will also be able to undertake professional installation on your behalf. Original Wolff replace ment parts and Original Wolff accessories have been checked for safety and suitability especially for Wolff machines.

We are unable to adequately assess the safety and suitably of non-Original Wolff replacement parts.

❒ In order to preserve operational safety and to prevent damage in the event of technical modifications, of whatsoever nature, our technical guidelines **must always be observed**. We are also always happy to hear from you should you have any other questions about your Wolff machine.

Please note that we cannot accept any liability for damage, insofar as this is sustained as the result of incorrect work undertaken or as the result of violation of the rules stated above.

インプリント / Imprint

Uzin Utz Tools GmbH & Co.KG

Ungerhalde 1
D−74360 Ilsfeld
電話: +49 (0)7062 91556−0
Fax: +49 (0)7062 91556−44
Eメール: tools@uzin−utz.com
Web: www.wolff−tools.com
経営責任者: Jürgen Rehmann, Julian Utz
付加価値税番号: DE 814 278 188
商業登記番号: 登録裁判所 シュトゥットガルト、HRA 728603

説明書 / Manual / #171399